

2023 年度 第二回学校関係者委員会 会議報告書

日 時 : 2024 年 3 月 18 日 (月) 14 : 00 ~ 15 : 05

場 所 : 旭美容専門学校 第二実習室 TEL059-228-2264

出席委員	株式会社杉新衣裳店	杉田真一
(敬称略)	hair salon un peu	吉村 太
	有限会社山端鋏製作所	山端公喜
	ヘアアンドメイク ウェーブ	長島正美
	ヘア&メイク KOTOBUKI	中林巳佳
	旭美容専門学校 理事長・校長	長谷川雅敏
	旭美容専門学校 副理事長	溝口智紀
	旭美容専門学校 教務部長・美容科学科長	河村久美
	旭美容専門学校 事務長	中尾孝子 (司会)

配布資料 : 旭美容専門学校 学校関係者評価委員会 事項書
学校関係者ご意見記載シート 学生アンケート(全体)

議事次第

1. 開会 配布資料の確認 (司会)

中尾事務長より配布資料の確認をした。

2. 学校長挨拶

校長の長谷川雅敏より

第二回学校関係者評価委員会出席へのお礼の挨拶。3月4日卒業式の報告と職業実践専門課程の認可の報告もなされた。

3. 学校関係者委員会の進め方

司会者より進め方について説明の後、杉田委員長が議長に指名され、挨拶の後、議事に入る。

4. 議題について

1) 新年度の事業計画・教育テーマについて

議長は、第1号議案 新年度の事業計画・教育テーマについて

長谷川校長が事項書一頁 2024 年度事業計画により説明。資料1により学生数の推移、資料2により就学支援新制度の利用者数等について説明。

また新年度より美容科が文科省の職業実践専門課程の認可、トータルエステティック科(1年制)が文科省のキャリア形成促進プログラムの認定を受けたことを報告。

半年後、厚労省の専門実践教育訓練給付金も受けることができるので、リカレント教育(学び直し)を希望する社会人は訓練給付を受けることができる予定であり、このことを広く周知し、学生確保につなげたい。

最後に、1.1 地震を受け防災の観点から新校舎建築についても、急がれるところであり、美容学生が技術と感性を磨く学舎に相応しい校舎建築に取り組み、他校との差別化を図っていきたいと述べた。

つづいて溝口副理事長より新年度事項書5頁教育テーマと重点目標について説明。

4年間、学生数の増加に取り組んできたが、ようやく目標数に到達する事ができた。

次年度は「全国から求められる人材・未来を変える人材の育成」を教育テーマに、建学の精神を忘れることなく、技術だけで無く、内面も問いながら成長できるよう指導を心がけていきたい。全国から旭さんから人が欲しい!と思ってもらえる人材育成。話題になる学校づくり、魅力作りに取り組んでいきたいと述べた。

重点事業について、資料記載のとおりであるが、例えば i-PAD の導入一つとっても、初めての事で Wi-Fi 環境をはじめ、教師もまだ十分活用できていない部分がある等まだまだ課題が多い。国家試験合格率についても今年も自己採点の段階だが、取りこぼしがある学生が散見出来る。

課題・指導法など問題を洗い出し受改善していきたいと述べた。

続いて河村教務部長より

主な学校行事について説明なされた。18歳成人の集い。インターンシップを1年対象に2回実施する。エステ科は今年に続き、インドネシアバリ研修旅行を実施する予定と述べ、一号議案を締めくくった。

そののち議長は委員に意見を求めた。

委員からの意見は次の通り

(コメント)

- ・ 計画が大きく順調に進んでいる。学生が順調に増えており安心した。計画が形になっている。全国から旭に来たいという学生が増えてほしい。
- ・ 全国にも求められる人材育成に期待している。
- ・ 奨学金は他校でも活用されているか?→県内他校でも利用している経済的に厳しい学生への就学支援策である。(校長)
- ・ 新制度(就学支援制度)を取り入れていることは素晴らしい
- ・ 国家試験前にシザーのメンテナンスにおじゃまをしているが、とても状態が良く、手入れ行き届いている。先生方の指導の成果・賜物である。
- ・ 道具を大切に使うことは大切。

- ・ 新しいことに取り組み、短期間に新しいビジネスモデルもできて素晴らしい。
- ・ まさに Z 世代への教育のあり方が問われている時代。
- ・ 社会人になってサロン勤務しても簡単に諦めてしまう人が多い。離職率が高い。
- ・ 新校舎建築についての計画は進んでいるのか？
- ・ →銀行と建築業者とすり合わせ中。3 号館駐車場・バスケットコート付近。電車からよく見える場所に計画中。（溝口）

2)2023 年度アンケートについて

続けて議長は 2023 年度アンケート結果について河村教務部長に説明を求めた。

別紙資料により学生アンケート(全体)により、毎年この時期に全校学生実施している本年度学生アンケート結果について説明。印象に残った事業、教職員に対する要望・意見などを説明、今後改善に努めたいと述べた。

補足のち後、議長は委員にコメント求めた

(コメント)

- ・ 改善の手立てはあるのか?→
Google クラスルームなどをうまく使っていく。生活ポイントは導入初年度で戸惑ったが、2 年目は改善できると思う。LINE での欠席連絡の時代。アナログな指導も必要かと思う。(教務部長)
- ・ アンケート結果の給食の点数が高くてびっくりする。朝食は取らない学生、経済的に厳しい人たちにとってとても助かる。
- ・ 給食を食べる学校というのは素晴らしい。次回、評価委員会で試食したい。今の心を掴む。
- ・ 全国にも給食の美味しい学校発信すべき。
- ・ アレルギー対応はどうしているのか?
→個々に対応している。栄養士がメニュー管理している(事務長)

3)意見交換

議長は、その他意見質問等、せっかくの機会であるので発言を求めたところ

- ・ イギリス(海外)研修は今後どうするのか?
→ササーン・カット研修がなくなったのでイギリスに行く予定は無い。エステ科はインドネシアバリ島研修を再開した。美容科は東京でトレンドサロン探訪等評判がいい。今後は韓国訪問なども検討している(副理事長)
- ・ アンケートへの対応はどういったスタンスで行っているのか?
→学生の意見全てに闇雲に答えると言う趣旨ではない。検討し必要なものについては改善して

いる。長く時間のかかる課題もある(教務部長)

- ・ まじめな学生の正直な意見だと思う。仕事にちゃんと向き合える人として立派に成長してほしい。

議長は意見が出尽くしたので総括として

色々なご意見をいただきました。

給付金が認定された学校となり入学生も増え、学校の評価が上がってきた。当然、学校側としても質の高い指導や教育ができることがスタッフに学生も求められる。当たり前のマナーやルールをこなし、社会人としてのレベルを上げていく指導努力が必要だということを確認できた。

いずれにしても本日の委員会は事業計画や教育目標も学生アンケート結果を受けたしっかり計画された内容となっており、充実した会議であったと思います。と議事を締め括り閉会した。

5・連絡事項

次回委員会は夏ごろを予定、開催日時は調整の上決定する。